

我が校の強み弱み分析・評価シート

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

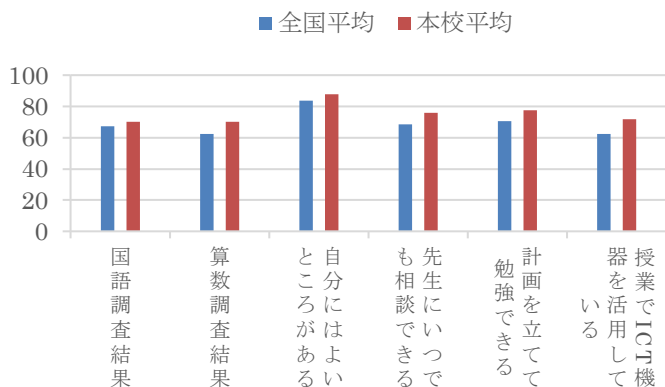
【結果について】

《結果の概要と本校の強み・弱み》

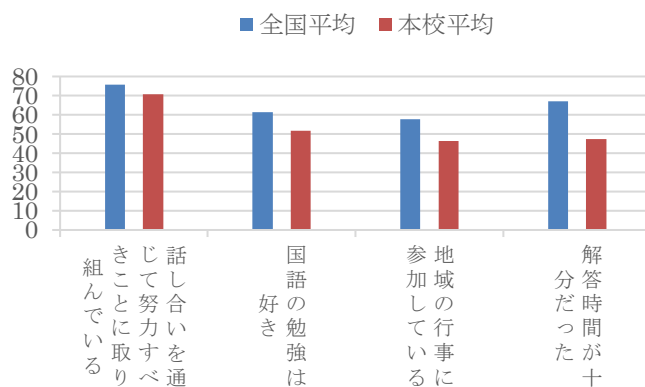
- 全国の平均正答率と比較してみると、国語、算数ともに全国平均を上回っており、概ね結果は良好といえる。
- 自分で思っていることを言葉で表したり、聞き手にうまく伝わるよう、工夫して発表したりできる児童の比率が高い。
- 自分で決めたことをやり遂げたり、計画を立てて勉強したりできる児童の比率が高い。
- 自分にはよいところがあると感じている子どもの割合が高い。
- 学級会で話し合い、解決方法を決めていると考えている児童の比率がやや低い。
- 話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組もうとする児童の比率がやや低い。
- 国語の勉強が好きと思っている児童の比率が低い。

◇強み・弱みレーダーチャート◇ ※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。

平野小学校の強み



平野小学校の弱み



※グラフは全国平均正答率・回答率、と本校平均正答率・のポイント差に基づいて作成しました。

【指導の充実に向けて】

- 学校教育目標「かがやけ平野の子どもたち」～人と関わり学べ！遊べ！平野にときめけ！～を念頭に置いた教育活動等を継続し、学習意欲を高めることができるよう毎時間「めあて」を提示すること。確かな力を身につけるための「ふりかえり」の時間を、授業の中で確保する。
- 学校で統一した指導を行うために、基本に戻り、学校のきまりを「見える化」して全学級で足並みをそろえて指導をする。そのことで、子どもたちにとって安心して学ぶことができる学校づくりをめざす。
- 国語科の勉強が嫌いと感じている児童が多いことを踏まえ、自分の考えを文章にしたり、学級で話し合っ解決に向けたりする学習が楽しいと感じられるように授業改善、少人数での話し合いの機会を持たせる。